

平成 28 年 (H28.1.1-H28.12.31) 研究業績

五福キャンパス

センター長・教授	松井 祥子	Shoko Matsui
准 教 授	西村優紀美	Yukimi Nishimura
講 師	竹澤みどり	Midori Takezawa
看 護 師	角間 純子	Junko Kakuma
看 護 師	山田 真帆	Maho Yamada
看 護 師	牧野 節子	Makino Setuko (H28.4.1 ~)
カウンセラー(非常勤)	細川 祝	Iwai Hosokawa

松井 祥子

【著書】

- 1) 松井祥子. 呼吸器疾患最新の治療2016-2018. 杉山幸比古, 門田淳一, 弦間昭彦編集. 東京: 南江堂; 2016. IgG4関連呼吸器疾患; p337-340.
- 2) 松井祥子. EBM 呼吸器疾患の治療 2016-2017. 永井厚志監修. 一ノ瀬正和, 井上義一, 舘田一博, 弦間昭彦編集. 東京: 中外医学社; 2016. IgG4関連疾患はどこまで解明されどう治療すべきか; p176-180.
- 3) 山本 洋, 松井祥子, 能登原憲司. IgG4関連疾患: 実践的臨床から病因へ-IgG4研究会モノグラフー 中村誠司, 住田孝之監修. 金沢: 前田書店; 2015. 呼吸器系の鑑別疾患 (1); p 61-70. (追加)
- 4) 佐伯敬子, 山本元久, 水島伊知郎, 乳原善文, 中島 衛, 松井祥子, 正木康史. IgG4関連疾患: 実践的臨床から病因へ-IgG4研究会モノグラフー 中村誠司, 住田孝之監修. 金沢: 前田書店; 2015. IgG4関連疾患の治療ー膈胆道系以外; p101-105. (追加)

【原著】

Inomata M, Hayashi R, Tanaka H, Shimokawa

K, Tokui K, Taka C, Okazawa S, Kambara K, Ichikawa T, Yamada T, Miwa T, Kashii T, Matsui S, Tobe K. Elevated levels of plasma lactate dehydrogenase is an unfavorable prognostic factor in patients with epidermal growth factor receptor mutation-positive non-small cell lung cancer, receiving treatment with gefitinib or erlotinib. *Mol Clin Oncol*. 2016;4:774-8

Inomata M, Shimokawa K, Tokui K, Taka C, Okazawa S, Kambara K, Yamada T, Miwa T, Hayashi R, Kashii T, Matsui S, Tobe K. Appetite Loss as an Adverse Effect During Treatment with EGFR-TKIs in Elderly Patients with Non-small Cell Lung Cancer. *Anticancer Res*. 2016;36:4951-4.

Matsui S, Yamamoto H, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposed diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. *Respir Invest* 2016 Mar;54(2) :130-2.

Kawano H, Ishii A, Kimura T, Takahashi T, Hironaka H, Kawano M, Yamaguchi M, Oishi K, Kubo M, Matsui S, Notohara K, Ikeda E. IgG4-related disease manifesting the gastric wall

- thickening. *Pathol Int.* 2016 Jan;66(1) :23-8.
- Inomata M, Hayashi R, Tokui K, Taka C, Okazawa S, Kambara K, Ichikawa T, Yamada T, Miwa T, Kashii T, Matsui S, Tobe K. Lactate dehydrogenase and body mass index are prognostic factors in patients with recurrent small cell lung cancer receiving amrubicin. *Tumori.* 2016;102:606-9.
- Mizushima I, Yamamoto M, Inoue D, Nishi S, Taniguchi Y, Ubara Y, Matsui S, Yasuno T, Nakashima H, Takahashi H, Yamada K, Nomura H, Yamagishi M, Saito T, Kawano M. Factors related to renal cortical atrophy development after glucocorticoid therapy in IgG4-related kidney disease: a retrospective multicenter study. *Arthritis Res Ther.* 2016 ;25;18:273
- Masaki Y, Matsui S, Saeki T, Tsuboi H, Hirata S, Izumi Y, Miyashita T, Fujikawa K, Dobashi H, Susaki K, Morimoto H, Takagi K, Kawano M, Origuchi T, Wada Y, Takahashi N, Horikoshi M, Ogishima H, Suzuki Y, Kawanami T, Kawanami Iwao H, Sakai T, Fujita Y, Fukushima T, Saito M, Suzuki R, Morikawa Y, Yoshino T, Nakamura S, Kojima M, Kurose N, Sato Y, Tanaka Y, Sugai S, Sumida T. A multicenter phase II prospective clinical trial of glucocorticoid for patients with untreated IgG4-related disease. *Mod Rheumatol.* 2016 Dec 15:1-6. [Epub ahead of print]
- Kawano H, Ishii A, Kimura T, Takahashi T, Hironaka H, Kawano M, Yamaguchi M, Oishi K, Kubo M, Matsui S, Notohara K, Ikeda E. IgG4-related disease manifesting the gastric wall thickening. *Pathol Int* 2016; 66:23-28.
- 【総説】**
- 1) 松井祥子. IgG4関連疾患の病因・病態を考えるーIgG4関連呼吸器疾患から. 分子リウマチ治療. 2016 ; 9 : 13-16.
 - 2) 松井祥子. IgG4関連呼吸器疾患の新知見. 医学のあゆみ. 2016 ; 258 : 241-244.
 - 3) 松井祥子. ダイジェスト“IgG4関連疾患”呼吸器病変. 診断と治療. 2016 ; 104 : 476-481.
 - 4) 松井祥子. 呼吸器の IgG4関連疾患. アレルギーの臨床. 2016 ; 36 : 31-35.
- 【学会報告】**
- 1) Matsui S, Yamamoto H, Handa T, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Clinical features of IgG4-related Respiratory Disease. *ATS 2016 International Conference; 2016 May 13-18; San Francisco.*
 - 2) Wallace Z, Khosroshahi A, Carruthers M, Corrado C, Choi HK, Culver E, Cortazar F, Ebbo M, Fernandes A, Frulloni L, Karadag O, Kawa S, Kawano M, Kim MH, Lanzillotta M, Matsui S, Perugino C, Okazaki K, Hart P, Ryu JH, Saeki T, Schleinitz N, Tanasa P, Umehara H, Webster G, Zhang W and Stone JH. An International, Multi-Specialty Validation Study of the IgG4-Related Disease Responder Index. *2016 ACR/ARHP Annual Meeting; 2016 September 28; Washington DC.*
 - 3) Yamada K, Yamamoto M, Saeki T, Mizushima I, Matsui S, Takahashi H, Kawano M and Kawa K. Baseline Clinical and Laboratory Features of IgG4-Related Disease: Retrospective Japanese Multicenter Study of 333 Cases. *2016 ACR/ARHP Annual Meeting; 2016 September 28; Washington DC.*
 - 4) 三原 洋, 岡澤成祐, 和田暁法, 田尻和人, 梶波康二, 音羽勘一, 藤野晋, 濱野忠則, 松井祥子, 杉山敏郎. 腹部救急コースの開発. 第113回日本内科学会講演会 ; 2016 Apr 15-17 ; 東京.
 - 5) 山本 洋, 安尾将法, 市山崇史, 立石一成, 牛木淳人, 花岡正幸, 久保惠嗣, 本田孝行, 川 茂幸, 松井祥子. IgG4関連疾患 (IgG4-RD) とサルコイドーシスのBAL液中サイトカ

- イン濃度の比較検討. 第113回日本内科学会講演会; 2016Apr 15-17; 東京.
- 6) 山田和徳, 山本元久, 佐伯敬子, 水島伊知郎, 松井祥子, 高橋裕樹, 山岸正和, 川野充弘, 川 茂幸. IgG4関連疾患333例の臨床像の検討. 第113回日本内科学会講演会; 2016Apr 15-17; 東京.
- 7) 山田徹, 林龍二, 田中宏明, 下川一生, 岡澤成祐, 徳井宏太郎, 神原健太, 猪又峰彦, 三輪敏郎, 松井祥子, 戸邊一之. 肺胞上皮細胞および線維芽細胞におけるSIRT1 activator (SRT1720)によるHSP47発現に関する研究. 第56回日本呼吸器学会学術講演会; 2016 Apr 8-10; 京都.
- 8) 猪又峰彦, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 高千紘, 岡澤成祐, 神原健太, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 菓子井達彦, 松井祥子, 戸邊一之. EGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるEGFR-TKI投与開始後の生存期間と血清LDHの関係. 第56回日本呼吸器学会学術講演会; 2016 Apr 8-10; 京都.
- 9) 岡澤成祐, 林龍二, 田中宏昭, 下川一生, 徳井宏太郎, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 篠田晃一郎, 多喜博文, 松井祥子, 戸邊一之. ユーロラインを測定された間質性肺炎患者におけるinterstitial pneumonia with autoimmunefeatures (IPAF) 群の検討. 第56回日本呼吸器学会学術講演会; 2016 Apr 8-10; 京都.
- 10) 高千紘, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 林龍二, 戸邊一之. 慢性呼吸器疾患における身体活動とSIRT1の関連. 第56回日本呼吸器学会学術講演会; 2016 Apr 8-10; 京都.
- 11) 下川一生, 林龍二, 田中宏明, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 戸邊一之, 嶋田喜文, 山本優, 仙田一貴, 土岐善紀, 濱島丈, 笹原正清, 篠田千恵. CT画像所見上気腫合併肺線維症を呈し, 外科的生検で剥離性間質性肺炎と診断した一例. 第56回日本呼吸器学会学術講演会; 2016 Apr 8-10; 京都.
- 12) 勢藤善大, 岡澤成祐, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 林龍二, 南坂尚, 井村穰二, 戸邊一之. 剥離性間質性肺炎と鑑別を要した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例. 第56回日本呼吸器学会学術講演会; 2016 Apr 8-10; 京都.
- 13) 神原健太, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 林龍二, 戸邊一之, 河岸由紀男. ラパリムス投与後に呼吸機能の安定を認めた1例. 第76回呼吸器合同北陸地方会; 2016May 21-22; 金沢.
- 14) 下川一生, 林龍二, 田中宏明, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 戸邊一之, 山田徹, 松井祥子, 三輪敏郎, 菓子井達彦, 南坂尚, 中島隆彦, 井村穰二. 扁桃転移をきたした肺小細胞癌の一例. 第76回呼吸器合同北陸地方会; 2016May 21-22; 金沢.
- 15) 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 林龍二, 戸邊一之, 菓子井達彦. エルロチニブからアファチニブへの変更により肝障害の改善と癌性髄膜炎の病勢コントロールが得られた肺腺癌の1例. 第76回呼吸器合同北陸地方会; 2016May 21-22; 金沢.
- 16) 神原健太, 中島悠, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 高千紘, 岡澤成祐, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 林龍二, 菓子井達彦. Direct Pathに影響を与える画像因子の検討. 第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 2016Jun 23-24; 名古屋.
- 17) 岡澤成祐, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 松井祥子, 戸邊一之. 当科における気管支鏡時のミダゾラム事前検量と実投与量の比較. 第39回日本呼吸器内視鏡学

- 会学術集会；2016Jun 23-24；名古屋。
- 18) 猪又峰彦, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 戸邊一之, 菓子井達彦. 85歳以上の超高齢者肺癌症例に対する分子標的治療薬治療の経験. 第71回日本肺癌学会北陸支部会学術集会；2016Jul9；金沢.
- 19) 徳井宏太郎, 田中宏明, 下川一生, 高千紘, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 戸邊一之, 松井祥子, 菓子井達彦. 繰り返した気管支鏡で診断がつかず鑄型状粘液栓で窒息した肺腺癌の1例. 第71回日本肺癌学会北陸支部会学術集会；2016Jul9；金沢.
- 20) 松井祥子. シンポジウム 自殺対策を志向した学生相談体制の充実に向けて～学生の自殺対策に向けた支援体制 富山大学の場合. 第54回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会；2016Jul7-8；松本.
- 21) 松井祥子, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 林龍二, 津田玲奈, 朴木博幸, 篠田晃一郎, 多喜博文, 戸邊一之, 小池 勤, 村上 純, 三輪重治, 井村穰二, 濱島 丈, 笹原正清. IgG4関連疾患の経過中にリンパ腫を発症した2例. 第25回日本シェーグレン症候群学会学術集会；2016 Sep 8-9；東京.
- 22) 中川圭子, 宮田留美, 大浦暢子, 柴野康子, 小倉悠里子, 竹澤みどり, 立浪 勝, 中村滝雄, 松井祥子. 大学保健管理センターにおける高照度光療法の有用性の検討. 第54回全国大学保健管理研究集会；2016 Oct 5-6；大阪.
- 23) 宮田留美, 中川圭子, 大浦暢子, 柴野康子, 小倉悠里子, 竹澤みどり, 立浪 勝, 中村滝雄, 松井祥子. 高照度光療法が奏功したと考えられた2事例の報告. 第54回全国大学保健管理研究集会；2016 Oct 5-6；大阪.
- 24) 徳井宏太郎, 田中宏明, 下川一生, 高千紘, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 戸邊一之, 松井祥子, 三輪重治, 井村穰二, 菓子井達彦. 肺切除術で診断したmarginal zone B-cell Lymphomaの1例. 第77回呼吸器合同北陸地方会；2016Nov 5-6；福井.
- 25) 猪又峰彦, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 松井祥子, 戸邊一之, 菓子井達彦. 非小細胞肺癌術後再発症例に対する化学放射線療法の効果と安全性. 第77回呼吸器合同北陸地方会；2016Nov 5-6；福井.
- 26) 飛騨結樹, 今西信悟, 田中宏明, 下川一生, 高千紘, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 戸邊一之, 松井祥子, 菓子井達彦. 肺腺癌骨転移の再生検にて新たにEGFR遺伝子変異を認めたと一症例. 第77回呼吸器合同北陸地方会；2016Nov 5-6；福井.
- 27) 猪又峰彦, 下川一生, 田中宏明, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 松井祥子, 戸邊一之, 山岸健太郎, 野村邦紀, 菓子井達彦. 後ろ向き観察研究による肺の線維化重症度と放射線性肺臓炎発症リスクとの関係に関する解析. 第57回日本肺がん学会学術集会；2016Dec 19-21；福岡.
- 28) 岡澤成祐, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 野村邦紀, 戸邊一之. 当科における肺野への放射線照射が施行されたニボルマブ使用症例の検討. 第57回日本肺がん学会学術集会；2016Dec 19-21；福岡.
- 29) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 下川一生, 田中宏明, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 今西信悟, 猪又峰彦, 山田徹, 林龍二, 松井祥子, 戸邊一之, 本間崇浩, 鈴木健介, 土岐善紀. EGFR-TKI投与前にT790M遺伝子変異が検出された活性型EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の臨床的検討. 第57回日本肺がん学会学術集会；2016Dec 19-21；福岡.

【その他】

- 1) 松井祥子. IgG4関連疾患の呼吸器診断基準. 厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業 「IgG4関連疾患並びに治療指針の確立を目指した研究」平成27年度 総括・分担研究報告書 121-2.
- 2) 松井祥子. 呼吸器分科会報告. 厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業 「IgG4関連疾患並びに治療指針の確立を目指した研究」班 (千葉班) 第1回班会議; 2016 Jan 8; 京都.
- 3) 山本 洋, 松井祥子. IgG4関連疾患 呼吸器病変の病態と治療に関する調査研究. 厚生労働科学研究 委託費 難治性疾患等実用化研究事業 「IgG4関連疾患の病態解明と新規治療法の確立に関する研究」班(三森班)第1回班会議; 2016 Jan 9; 京都.
- 4) 松井祥子. 有壬だより (新潟大学医学部学士会報) 第57号 2016 Jul 1.
- 5) 松井祥子. 本道 (秋田大学医学部同窓会報) 第28号 2016: 80-2
- 6) 松井祥子. タバコと健康. 青少年健康づくり支援事業 西部中学校; 2016 Jan 29; 富山.
- 7) 松井祥子. タバコと健康. 青少年健康づくり支援事業 西部中学校; 2016 Jul 12; 富山.
- 8) 松井祥子. タバコと健康. 青少年健康づくり支援事業 早月中学校; 2016 Jul 12; 富山.
- 9) 松井祥子. タバコと健康. 滑川中学校; 2016 Jul 17; 富山.
- 10) 松井祥子. IgG4関連疾患とその呼吸器病変. 第4回呼吸器専門医のためのとことんセミナー; 2016 Nov11; 大阪.
- 11) 松井祥子. IgG4関連疾患の最近の話題～呼吸器病変を中心に～. 北海道免疫疾患セミナー; 2016 Nov18; 札幌.
- 12) 松井祥子. たばこの害と受動喫煙対策の必要性について. 高岡社会保険研修会; 2016 Dec2; 富山.
- 13) 松井祥子. 若い人も受けやすく“禁煙治療”. 北日本放送 いっちゃんメデイコ 2016年10月31日16:25-53.

西村 優紀美

【著書】

- 1) 西村優紀美 (2016) 学校における支援—学生の支援と課題. 下山晴彦、村瀬嘉代子、森岡正芳編著, 必携発達障害支援ハンドブック. 金剛出版, 343-348.
- 2) 西村優紀美・水野薫 (2016) 実習場面での支援. 高橋知音編著, 発達障害のある大学生への支援. 金子書房, 62-72.
- 3) 西村優紀美 (2016) 2. 教育 大学での支援. 日本LD学会編, 発達障害事典. 丸善出版, 146-147.
- 4) 西村優紀美 (2016) 3. 心理 高校生・大学生とメンタルヘルス. 日本LD学会編, 発達障害事典. 丸善出版, 276-277.
- 5) 西村優紀美 (2016) 6. 成人生活. 日本LD学会編, 発達障害事典. 丸善出版, 472-473.

【学会、研究会等における学術講演】

- 1) 西村優紀美：大学等の対応要領の策定とその後の取り組み. 独立行政法人日本学生支援機構 平成27年度全国障害学生支援セミナー体制整備支援セミナー. 2016. 2. 2. 大阪.
- 2) 西村優紀美：障害学生支援における合理的配慮～意思表示に関わる建設的対話の在り方～. 独立行政法人日本学生支援機構 専門テーマ別セミナー. 2016. 2. 9. 大阪.
- 3) 西村優紀美：大学における障害学生支援～発達障害学生に対する合理的配慮～. 北見工業大学FD研修会. 2016. 5. 10. 北海道.
- 4) 西村優紀美：個に応じた支援. 一般社団法人日本LD学会特別支援教育士養成セミナー. 2016. 6. 4. 東京.
- 5) 西村優紀美：高等学校卒業後の進路をどう考えるか～富山大学の合理的配慮の取り組み. 横浜市自閉症協会総会記念講演. 2016. 6. 11. 神奈川.
- 6) 西村優紀美：障害者差別解消法の趣旨と大学における対応について. 静岡大学障がい学生

支援講演会. 2016. 6. 14. 静岡.

- 7) 西村優紀美, 桶谷文哲, 日下部貴史：発達障害のある高校生に対する大学体験プログラムに関する一考察. 全国障害学生支援連絡協議会第二回大会ポスター発表. 2016. 6. 25. 東京.
- 8) 西村優紀美：発達障害のある学生への対応. 平成28年度第54回全国大学保健管理協議会東海北陸地方部会研究集会パネルディスカッション話題提供. 2016. 7. 28. 愛知.
- 9) 西村優紀美：高等学校における発達障害生徒に対するインクルーシブ教育—合理的配慮の観点から—. 日本臨床発達心理士会全国大会全国士会企画実践セミナーA. 2016. 9. 10. 大阪.
- 10) 西村優紀美：障害学生に対する合理的配慮の提供プロセスについて. 平成28年度東海・北陸地区国立高等専門学校厚生補導関係主事及び学生課長会議学生支援連絡協議会・独立行政法人国立高等専門学校福井工業高等専門学校FD講演会. 2016. 9. 20. 福井.
- 11) 西村優紀美：障害者差別解消法の施行に伴う対応～発達障害のある学生への支援を中心に～. 私立短大教務担当者研修会. 2016. 10. 25. 静岡.
- 12) 西村優紀美：発達障害のある大学生の支援をめぐって—自らの歩みを支え、自己認識の変容へ. 第39回総合リハビリテーション研究会分科会パネリスト. 2016. 11. 6. 東京.
- 13) 西村優紀美：発達障がい学生への修学支援方法について. 日本女子大学障がい学生支援委員会主催教職員対象講演会. 2016. 11. 9. 東京.
- 14) 西村優紀美, 中山肇, ソルト：発達障害学生の社会自立と就労支援—青年期の発達を支える連携の場づくり. 一般社団法人日本LD学会第25回大会自主シンポジウム企画・話題提供. 2016. 11. 19. 神奈川.
- 15) 西村優紀美：学校における発達障害児への支援. 第73回北陸学校保健学会. 2016. 11. 27. 石川.

- 16) 西村優紀美：発達障がい学生への理解と配慮について、首都大学東京平成28年度学生支援・対応研修、2016.12.7.東京。
- 17) 西村優紀美：発達障害を抱える学生への就職支援、石川労働局主催発達障害者就労セミナー、2016.12.9.石川。
- 18) 西村優紀美：才能を活かす特別支援への先駆的取り組みー発達障害のある生徒に対する大学体験プログラム『チャレンジ・カレッジ』の試み、2016年度一般社団法人日本LD学会公開シンポジウム、2016.12.23.大阪。
- 19) 西村優紀美：富山大学における発達障害学生

支援ー発達障害を抱える学生への支援を中心に、独立行政法人日本学生支援機構主催平成28年度全国障害学生セミナー「体制整備支援セミナー」講師、2016.7.4 (北海道), 9.14 (東京), 10.4 (愛知), 11.8 (福岡), 11.11 (宮城), 12.16 (広島)。

【社会活動】

- ・文部科学省「障害のある学生への支援に関する検討会」委員
- ・全国高等教育障害学生支援連絡協議会 理事

竹澤 みどり

【論文】

- 1) 竹澤みどり・松井めぐみ 2016 情報通信技術を用いた交際相手からの暴力—日本における実態とその特徴の検討— 学園の臨床研究, 15, 11-24.
- 2) 竹澤みどり 2016 広場恐怖による不登校に対する認知行動療法的アプローチ—電子メールを用いて介入した事例— 学生相談研究, 37, 81-93.
- 3) 宮前淳子・竹澤みどり・宇井美代子・寺島 瞳・松井めぐみ 2016 若年層を対象とした交際相手からの心理的暴力被害経験尺度の作成と性差の検討— 地域環境保健福祉研究, 19, 1-11.

【学会発表】

- 1) Midori TAKEZAWA, Megumi MATSUI 2016 Perpetration of Intimate Partner Violence Using Information Communication Technology: Relation with Narcissism and Preoccupation for Persecutory Ideation. 31st International Congress of Psychology, PS27P-04-43.
- 2) Megumi MATSUI, Junko MIYAMAE,

Miyoko UI, Midori TAKEZAWA, Hitomi TERASHIMA 2016 Relation between Psychological Violence Victimization by Intimate Partner and Annual Household Income or Status and Occupations. 31st International Congress of Psychology, PS28A-03-253.

- 3) 竹澤みどり・松井めぐみ 2016 交際相手からの暴力 (IPV) に対する許容度—情報通信技術 (ICT) を用いた行為と対面での行為との比較— 日本健康心理学会第29回大会, P1-15G.

【講演その他】

- 1) 竹澤みどり 「健やかな男女交際のために」 富山大学高岡キャンパス講演会「健やかな学生生活を送るために」 講師 2016.7.20.
- 2) 竹澤みどり 「心理的援助とは—傾聴技術とカウンセリング演習—」 射水市家庭教育アドバイザー養成講座 講師 2016.8.8
- 3) 竹澤みどり 「ストレスとうまく付き合うために」 富山大学経済学部講習会 講師 2016.12.21

杉谷キャンパス

教 授 (併)	山本 善裕	Yoshihiro Yamamoto
准 教 授	岩田 実	Iwata Minoru
看 護 師	高倉 一恵	Kazue Takakura
看 護 師	野口 寿美	Hitomi Noguchi
臨 床 心 理 士	酒井 涉	Wataru Sakai (~ H28.10.31)
臨床心理士(非常勤)	佐野 隆子	Takako Sano
臨床心理士(非常勤)	小倉悠里子	Yuriko Ogura

【原 著】

- 1) Kamura Y, Iwata M, Maeda S, Shinmura S, Koshimizu Y, Honoki H, Fukuda K, Ishiki M, Usui I, Fukushima Y, Takano A, Kato H, Murakami S, Higuchi K, Kobashi C, Tobe K. FTO gene polymorphism is associated with Type 2 diabetes through its effect on increasing the maximum BMI in Japanese men. PLoS One. 2016 Nov 7;11(11):e0165523.
- 2) Matsuba R, Imamura M, Tanaka Y, Iwata M, Hirose H, Kaku K, Maegawa H, Watada H, Tobe K, Kashiwagi A, Kawamori R, Maeda S. Replication Study in a Japanese Population of Six Susceptibility Loci for Type 2 Diabetes Originally Identified by a Transethnic Meta-Analysis of Genome-Wide Association Studies. PLoS One. 2016 Apr 26;11(4):e0154093.
- 3) Imamura M, Takahashi A, Yamauchi T, Hara K, Yasuda K, Grarup N, Zhao W, Wang X, Huerta-Chagoya A, Hu C, Moon S, Long J, Kwak SH, Rasheed A, Saxena R, Ma RC, Okada Y, Iwata M, Hosoe J, Shojima N, Iwasaki M, Fujita H, Suzuki K, Danesh J, Jørgensen T, Jørgensen ME, Witte DR, Brandslund I, Christensen C, Hansen T, Mercader JM, Flannick J, Moreno-Macías H, Burtt NP, Zhang R, Kim YJ, Zheng W, Singh JR, Tam CH, Hirose H, Maegawa H, Ito C, Kaku K, Watada H, Tanaka Y, Tobe K, Kawamori R, Kubo M, Cho YS, Chan

JC, Sanghera D, Frossard P, Park KS, Shu XO, Kim BJ, Florez JC, Tusié-Luna T, Jia W, Tai ES, Pedersen O, Saleheen D, Maeda S, Kadowaki T. Genome-wide association studies in the Japanese population identify seven novel loci for type 2 diabetes. Nat Commun 2016 Jan 28;7:10531.

- 4) Okumura A, Unoki-Kubota H, Yoshida-Hata N, Yamamoto-Honda R, Yamashita S, Iwata M, Tobe K, Kajio H, Noda M, Katai N, Yamagoe S, Kaburagi Y. Reduced serum level of leukocyte cell-derived chemotaxin 2 is associated with the presence of diabetic retinopathy. Clin Chim Acta. 2016 Dec 1;463:145-149.

【学会報告】

- 1) 岩田 実, 加村 裕, 福田 一仁, 朴木 久恵, 小清水 由紀子, 渡辺 善之, 瀧川 章子, 岡澤 光代, 藤坂 志帆, 薄井 勲, 戸辺 一之, 石木 学. 2型糖尿病におけるアディポネクチン三分画の検討. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 2016, 5, 19-21, 京都.
- 2) 岡部 圭介, 岩田 実, 渡辺 善之, 中嶋 歩, 角 朝信, 瀧川 章子, 朴木 久恵, 小清水 由紀子, 石木 学, 薄井 勲, 戸邊 一之. 2型糖尿病患者の内因性インスリン分泌評価指標に及ぼす腎機能の影響. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 2016, 5, 19-21, 京都.
- 3) 渡邊 善之, 角 朝信, 岡部 圭介, 瀧川 章子, 朴木 久恵, 藤坂 志帆, 小清水 由紀子, 加村 裕,

- 岩田 実, 石木 学, 戸邊 一之. インスリン治療の必要性を予測する入院時の各種インスリン分泌能検査の比較検討. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 2016, 5, 19-21, 京都.
- 4) 西田 康宏, 石木 学, 瀧川 章子, Nawaz Allah, 岡部 圭介, 角 朝信, 藤坂 志帆, 小清水 由紀子, 岩田 実, 薄井 勲, 戸邊 一之. 海洋性カロテノイド色素アスタキサンチンの抗糖尿病効果における骨格筋での作用. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 2016, 5, 19-21, 京都.
- 5) 小清水 由紀子, 薄井 勲, 朴木 久恵, 渡邊 善之, 角 朝信, 岡部 圭介, 瀧川 章子, 藤坂 志帆, 石木 学, 岩田 実, 戸邊 一之. インスリン治療を要した妊娠糖尿病症例の臨床的特徴に関する検討. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 2016, 5, 19-21, 京都.
- 6) 朴木 久恵, 薄井 勲, 渡邊 善之, 岡部 圭介, 角 朝信, 瀧川 章子, 藤坂 志帆, 井窪 万里子, 小清水 由紀子, 石木 学, 岩田 実, 手丸 理恵, 清水 幸裕, 戸邊 一之. 血中Cペプチドを用いた新規インスリン抵抗性の指標 (CPR-R) の開発. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 2016, 5, 19-21, 京都.
- 7) 朴木 久恵, 小清水 由紀子, 渡邊 善之, 角 朝信, 岡部 圭介, 瀧川 章子, 石木 学, 岩田 実, 薄井 勲, 笹岡 利安, 戸邊 一之. 二次性副甲状腺機能亢進症で副甲状腺全摘、右前腕自家移植術施行後、再びintactPTH上昇した透析患者の1例. 第89回日本内分泌学会学術総会, 2016, 4, 21-23, 京都.
- 8) 小清水 由紀子, 岩田 実, 中嶋 歩, 朴木 久恵, 渡邊 善之, 角 朝信, 岡部 圭介, 瀧川 章子, 石木 学, 薄井 勲, 戸邊 一之. 妊娠後期に発症し異なる臨床経過をたどったリンパ球性下垂体炎の2症例. 第89回日本内分泌学会学術総会, 2016, 4, 21-23, 京都.

高岡キャンパス

支 所 長 (併 任)	立 浪 勝	Masaru Tachinami (~ H28.3.31)
支 所 長 (併 任)	中 村 滝雄	Takio Nakamura (H28.4.1 ~)
内 科 医 (准教授)	中 川 圭子	keiko Nakagawa
看 護 師	宮 田 留美	Rumi Miyata
臨床心理士 (非常勤)	柴 野 泰子	Yasuko Shibano
精神保健福祉士 (非常勤)	橋 本 順子	Junko Hasyimoto
臨床心理士 (非常勤)	大 浦 暢子	Nobuko Oura
臨床心理士 (非常勤)	小 倉 悠里子	Yuriko Ogura

中川 圭子

【学会報告】

- 1) Nobuyuki Fukuda, Shuhei Tanaka, Kyoko Inao, Keiko Nakagawa, Tadakazu Hirai, Koichiro Kinugawa, Hiroshi Inoue. Left atrial strain rates assessed by speckle tracking imaging predict the success of atrial fibrillation ablation. 第80回日本循環器学会学術集会, 2016, 3, 18-20, 仙台.
- 2) 中川圭子, 平井忠和, 福田信之, 稲尾杏子, 田中修平, 高嶋修太郎, 絹川弘一郎: 長期間観察し得た非弁膜症性心房細動のイベント発症に関する検討. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016,9,23-25, 東京.
- 3) 福田信之, 平井忠和, 稲尾杏子, 田中修平, 中川圭子, 絹川弘一郎, 井上 博: スペックトラッキング法を用いた左房機能評価による心房細動アブレーションの再発予測. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016,9,23-25, 東京.
- 4) 田中修平, 平井忠和, 福田信之, 稲尾杏子, 中川圭子, 絹川弘一郎, 井上 博: 高感度心筋トロポニンIによる心房細動患者の血栓塞栓症リスク評価. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016,9,23-25, 東京.
- 5) 中川圭子, 宮田留美, 大浦暢子, 柴野泰子, 小倉悠里子, 竹澤みどり, 中村滝雄, 立浪 勝, 松井祥子: 大学保健管理センターにおける高照度光療法の有用性の検討. 第54回全国大学保健管理研究集会. 2016,10,5-6, 大阪.
- 6) 宮田留美, 中川圭子, 大浦暢子, 柴野泰子, 小倉悠里子, 竹澤みどり, 中村滝雄, 立浪 勝, 松井祥子: 高照度光療法が著効したと考えられた2事例の報告. 第54回全国大学保健管理研究集会. 2016,10,5-6, 大阪.